

【国語】

1

素材は大岡信『青き麦萌ゆ』（毎日新聞社、一九七五年一月）から採った。引用箇所は、高浜虚子の「去年今年貫く棒の如きもの」を軸に、季語のはたらきや句の読み方を示すとともに、作者の意図だけに縛られず、読者の読みの中で多様な解釈が生まれうるという視点にまで及ぶ示唆的な部分である。中学校では俳句に触れる機会が限られ、鑑賞も季語や表現技法の確認にとどまりがちである。しかし俳句は、わずかな言葉の背後に作者の逡巡や切実さが潜み、読む側の経験や感受性によって像が立ち上がってくる文芸でもある。本素材の読解を通じて、俳句鑑賞を単なる季語・技法の確認にとどめず、読者の側で解釈が動き、深まっていく感覚を掴ませたいと考え採択した。

出題のねらいは、文章の展開に即して内容を的確に把握できるかを査定することにある。中学卒業段階の受験生にはやや難しい文章ではあるが、論理の運びを丁寧に追えば十分に読解可能であると考え採択した。

【各設問のねらい】

- （問1） 基本的な慣用句の意味を的確に把握する能力。
- （問2） 文章の展開に即して、適切な接続詞を判断する能力。
- （問3） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問4） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問5） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問6） 文章の展開に即して、内容を的確に思考する能力。
- （問7） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。

素材は、平居高志『アリストテレスもヘーゲルもサルトルも出てこない 実用「哲学する」入門』（花伝社 二〇二四年一〇月）ならびに『未来のきみを変える読書術 なぜ本を読むのか？』（筑摩書房 二〇二一年九月）から採った文章である。出典前者の構成は「総論編」「各論編」「総括編」に分かれており、採録は「総論編」の中、哲学についての著者なりの考え方が示されている部分である。タイトルにもあるように、「実用」的、すなわち実生活に「哲学」をどのように生かしていくことができるのかを論じた文章で、具体例も盛り込まれており、中学校卒業段階での読解は十分可能であると考える。また、設問内に出典後者を盛り込み、出典前者で言及のあった「無知（不知）の知」という言葉が生まれたエピソードを紹介する部分を採録した。

出題のねらいは、文章の展開に即して内容を的確に把握することができるかを査定することにある。また、設問内には、出題文をめぐり生徒たちが発言する場面を配置した。複数の文章を読解し、多角的に内容を把握する力をはかるものである。それらも含め、思考力・判断力を査定する設問構成となっている。

〔各設問のねらい〕

- （問1） 基本的な漢字を的確に把握する能力。出題範囲は、常用漢字の中の小・中学校学習漢字である。
- （問2） 文法の知識を踏まえ、語の用法を正しく識別する能力。
- （問3） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問4） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問5） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問6） 文章の展開に即して、内容を的確に把握する能力。
- （問7） 文章を俯瞰的に捉え、論旨を的確に判断する能力。

素材は、松井玲奈『カット・イン／カット・アウト』（集英社 二〇一五年三月）から採った文章である。本作は、舞台女優である主人公坂田まち子（「マル子」）が、どんな役を演じる際も、常に舞台の全体像を把握し、台本を全て頭に叩きこみながら芝居に向き合い続けた結果、端役だったはずの舞台で、主演女優の代役を務めることになるまでを描いている。問題文最初の一文で、「私みたいな華のない人間は、芝居の中で誰かの役に立つことでようやく存在する意味を持てる。」と述べていた主人公が、「誰かの役に立つ」ために誠実に芝居に打ち込んできたことで、最後に主演を務め、「私は、千夏として、口を開く。」までの様々な心情の推移を、受験生にもぜひ味わってもらいたいという思いで問題を作成した。途中回想も挟まるうえ、場面も頻繁に変わるため、時間の流れや状況を丁寧に整理しながら読む必要があるが、表現は総じて平易であり、中学卒業段階での読み取りは十分可能な内容であると考える。

出題のねらいは、主に主人公の心情と、作品に描かれている状況を把握する能力を査定することにある。また、対話形式の出題を設定することにより、会話を完成させながら作品全体を把握させることで、思考力・判断力を査定する設問構成となっている。

〔各設問のねらい〕

- （問1） 基本的な慣用句の意味を踏まえて、人物の心情を的確に把握する能力。
- （問2） 文章の展開に即して、人物の心情を的確に把握する能力。
- （問3） 表現の効果を的確に把握し、そこに暗示されるものを正しく判断する能力。
- （問4） 比喩表現の意味を正しく理解して、会話の流れを適切に理解し、人物の心情を的確に把握する能力。
- （問5） 文章の展開に即して、人物の心情を的確に把握する能力。
- （問6） 文章の展開に即して、人物の心情を的確に把握する能力。
- （問7） 文章の展開に即して、人物の心情を的確に判断する能力。